

平成18年2月期
決算説明会資料

平成18年4月26日

フロイント産業株式会社
(コード番号6312)

《 目 次 》

1 . 平成 1 8 年 2 月期 決算概要

(1) 平成 1 8 年 2 月期の総括	4
(2) 平成 1 8 年 2 月期 連結損益計算書	5
(3) 平成 1 8 年 2 月期 連結貸借対照表	6
(4) 連結売上高の推移	7
(5) セグメント別分析	8
(6) 機械部門の受注高・期末受注残高の推移	9

2 . 平成 1 9 年 2 月期 業績予想

(1) 平成 1 9 年 2 月期の連結業績予想	1 1
(2) 売上高・営業利益の推移 (予想)	1 2
(3) 設備投資額・研究開発費の推移 (予想)	1 3
(4) セグメント別事業計画	1 4

3 . 中期経営計画 (平成 1 8 年 2 月期 ~ 平成 2 0 年 2 月期)

基本方針、計数目標	1 6
重要施策	1 7

平成18年2月期 決算概要

平成18年2月期の総括

今期の業績は、

機械部門は、

- ・ 国内は薬事法改正に関わる新規設備投資は、ほぼ一巡
- ・ 海外は国際的な後発医薬品企業の積極的な設備投資は持続

化成品部門は、

- ・ 自社製品の医薬品添加剤の需要は引き続き伸長
- ・ 食品品質保持剤の市場は拡大
- ・ 米国子会社V P S社は、年後半に治験薬製造受託事業を再開 など、

売上高は期初予想を若干下回るも前期比微増収の113億68百万円、営業利益は前期比11.6%増の5億83百万円、経常利益も19.7%増の6億62百万円となりました。

平成18年2月期 連結損益計算書

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

	今期 18年2月期	前期 17年2月期	増減	前期比	説明
売上高	11,368	11,013	355	3.2%	
売上総利益	3,541	3,325	216	6.5%	
販管費	2,958	2,802	155	5.6%	
営業利益	583	522	60	11.6%	
経常利益	662	553	109	19.7%	投資事業組合持分利益41百万円
税引前当期利益	633	550	82	14.9%	減損損失24百万円(1) たな卸資産評価損16百万円(2)
当期純利益	308	285	22	7.8%	

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用

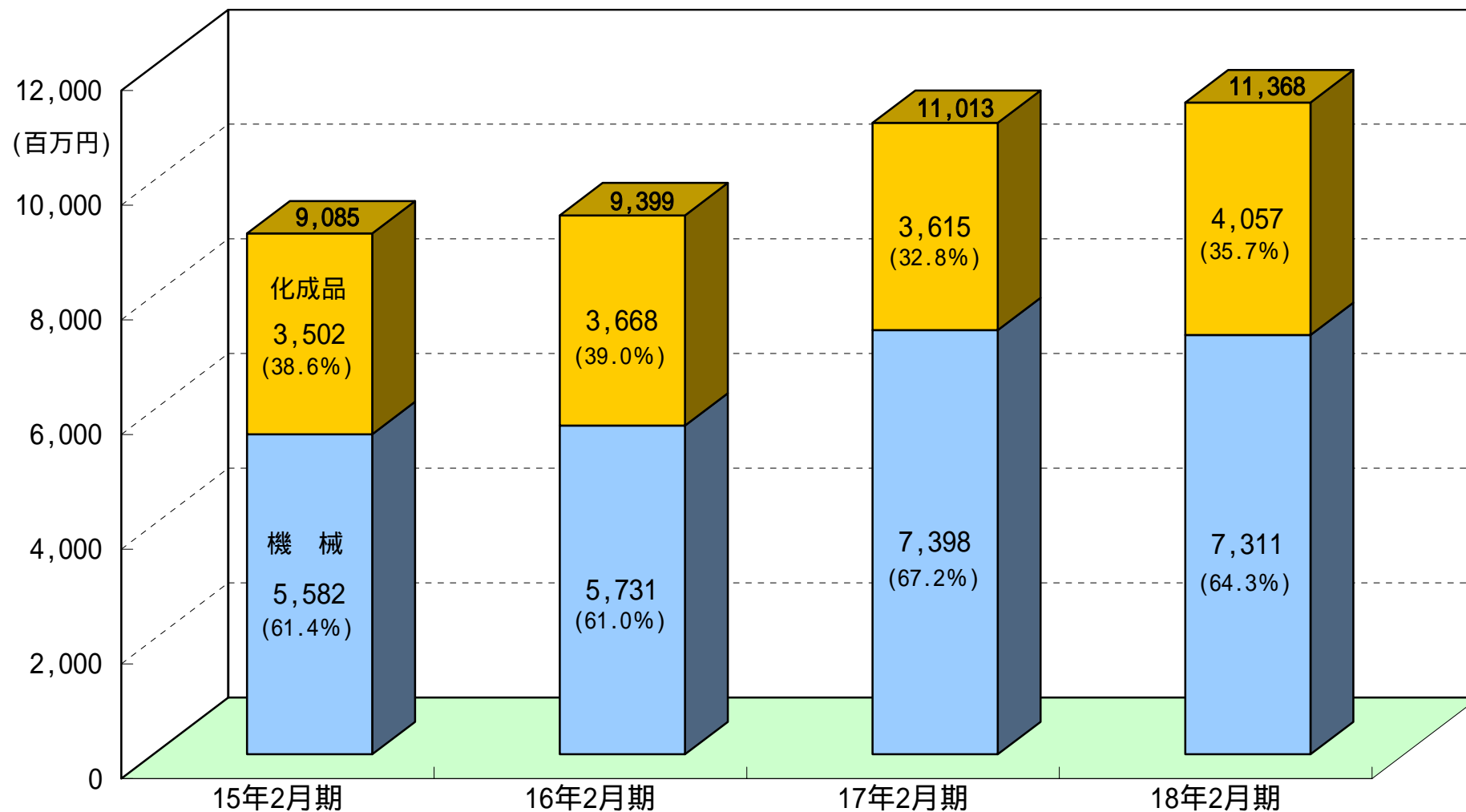
2. 米国子会社の「たな卸資産の評価方法」を後入先出法から先入先出法に基づく低価法へ変更(会計方針の変更)

平成18年2月期 連結貸借対照表

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

	今 期 18年2月期	前 期 17年2月期	増 減	説 明
流動資産	5,998	6,306	308	
固定資産	4,302	3,780	522	
有形固定資産	3,156	2,705	451	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松事業所...医薬品添加剤生産設備増強 ・ ベクター社...工場増築 ・ 社内システム全面更改作業中
無形固定資産	108	73	35	
投資その他資産	1,037	1,001	35	
流動負債	3,113	3,188	74	・ コミットメント197百万円(総枠2,000百万円)
固定負債	594	636	42	
少数株主持分	338	325	13	
資本合計	6,254	5,937	317	
総資産	10,301	10,087	214	

連結売上高の推移



セグメント別分析

機械部門

期初、高水準の受注残高でスタート
(当社・ベクター社とも)

当社

- ・医薬業界は薬事法改正に関わる設備投資はほぼ一巡し、今後の設備投資は慎重姿勢に
- ・食品・健康食品業界などへ積極的に営業展開

ベクター社

- ・後発医薬品企業の積極的な設備投資が持続し、更に売上伸長(売上記録を更新)

化成品部門

医薬品添加剤

自社製品の球形顆粒・ノンパレルの需要は堅調に推移

食品品質保持剤

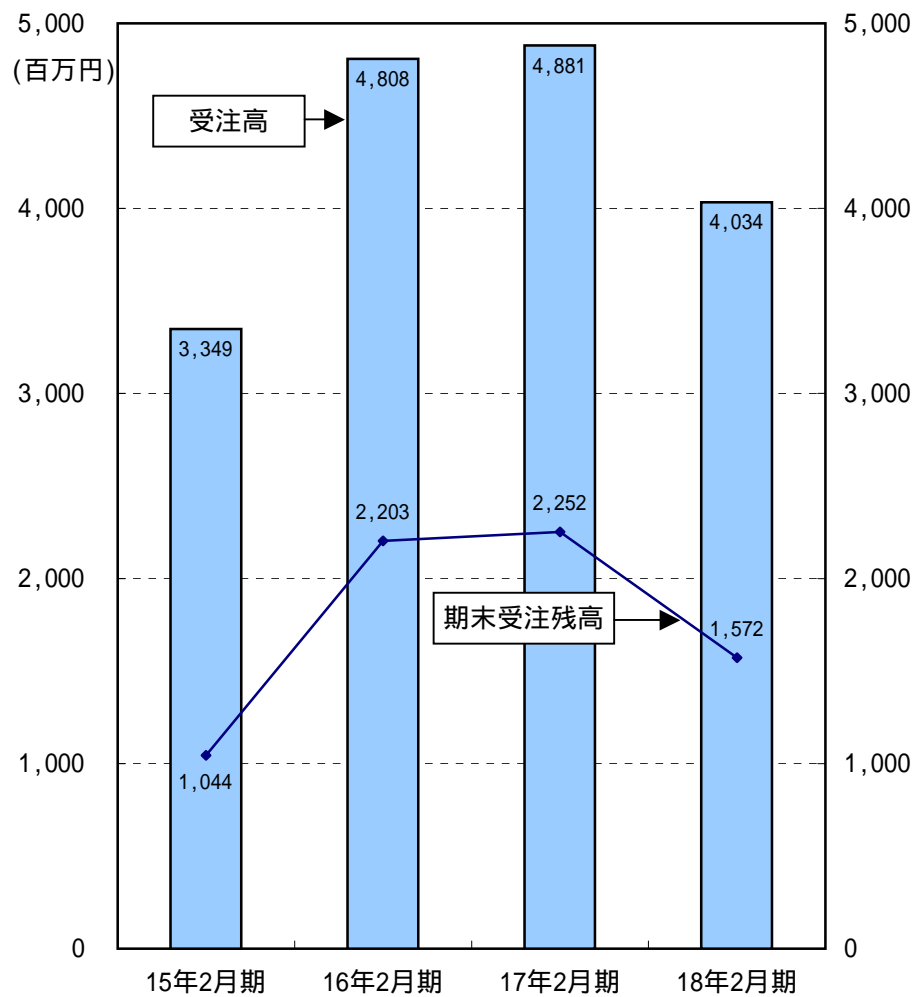
ユーザー業界の活況による市場拡大と新規開拓により好調推移

V P S 社

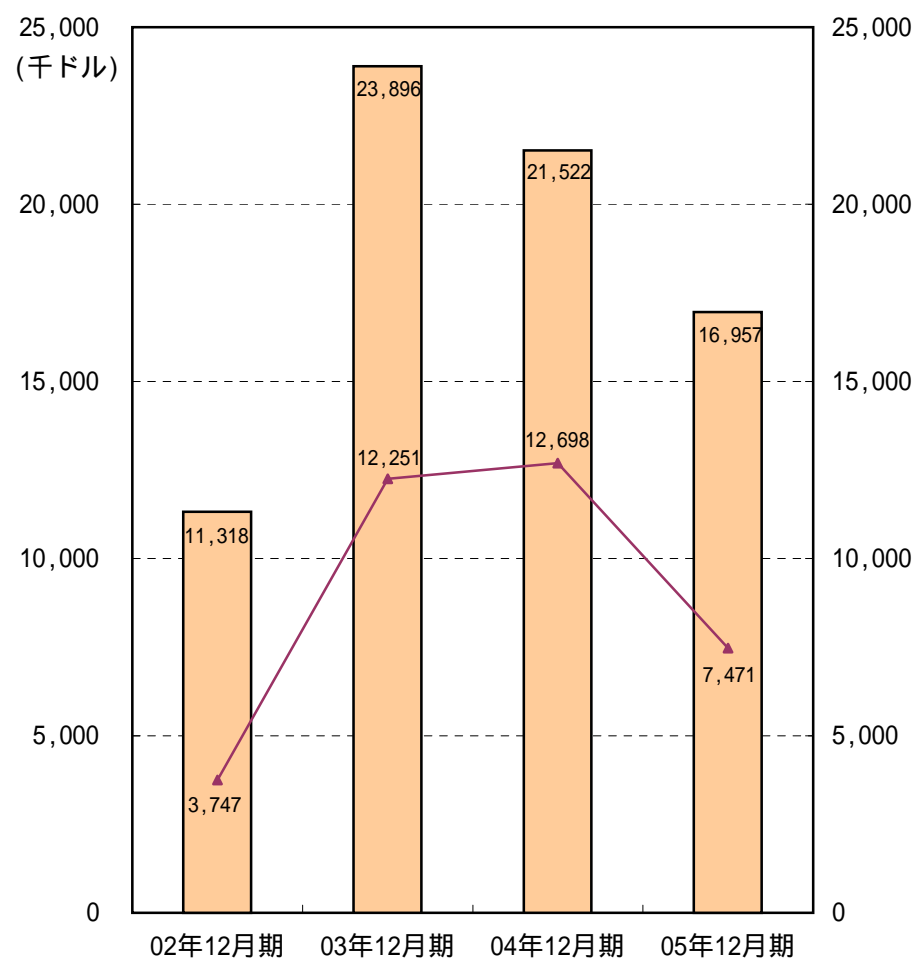
大規模な施設改修工事のため受注活動を一時見合わせていた治験薬製造受託事業は、年後半に事業を再開

機械部門の受注高・期末受注残高の推移

< 当 社 >



< ベクター社 >



平成19年2月期 業績予想

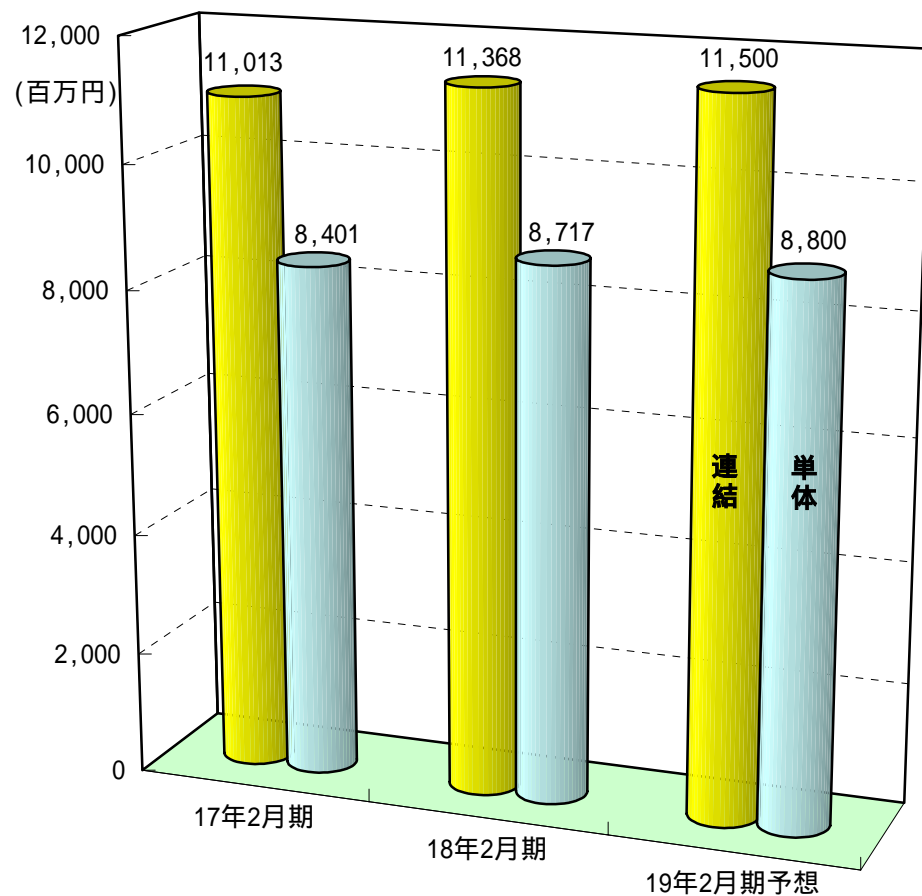
平成19年2月期の連結業績予想

百万円未満切捨
小数第2位四捨五入

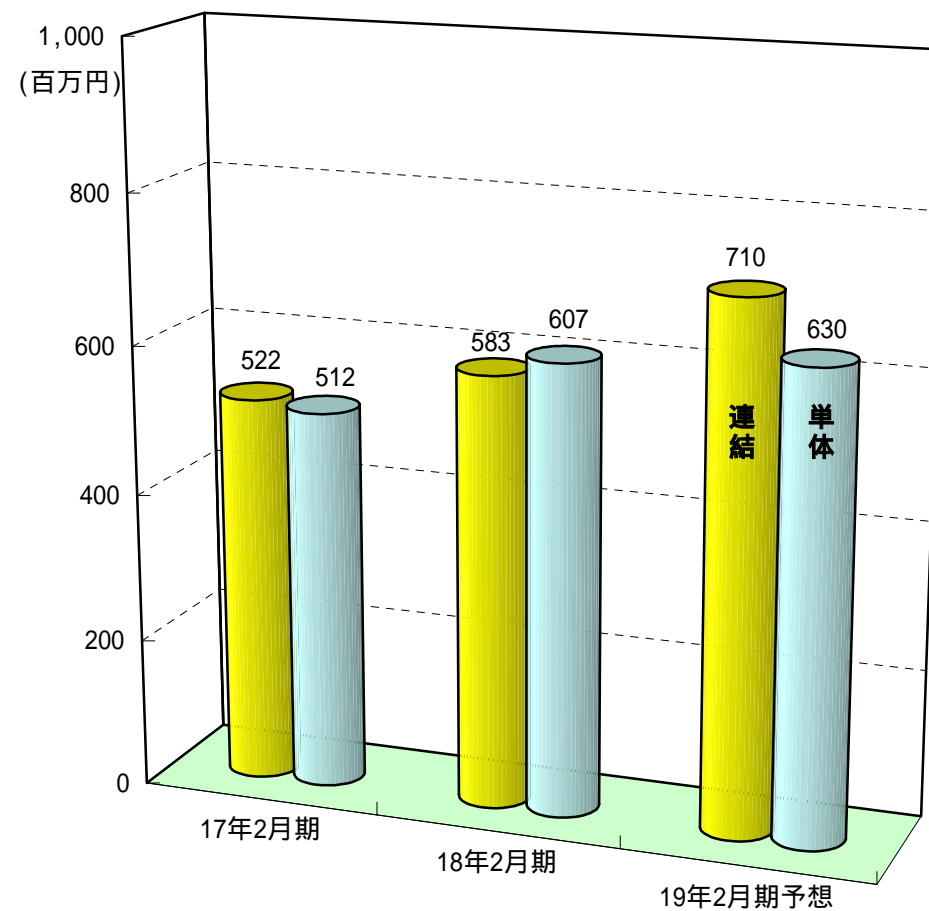
	今 期 18年2月期	業績予想 19年2月期	増 減	前期比	説 明
売 上 高	11,368	11,500	131	1.2%	
営業利益	583	710	126	21.7%	・ベクター社...収益力回復 ・V P S社 ...安定した受注確保
経常利益	662	730	67	10.2%	
当期純利益	308	410	101	33.0%	

売上高・営業利益の推移（予想）

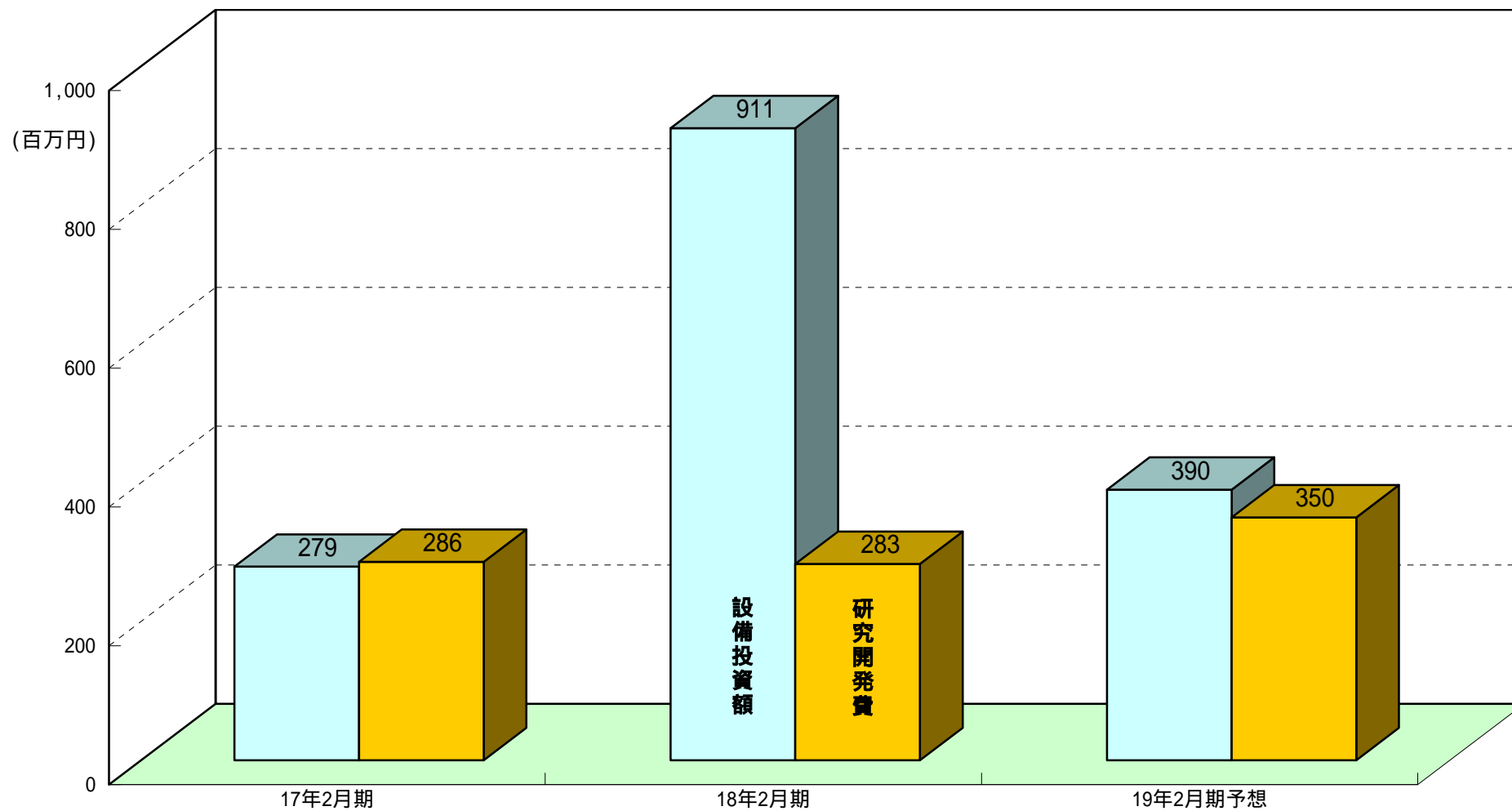
【売上高】



【営業利益】



設備投資額・研究開発費の推移（予想）



セグメント別事業計画

機械部門

当社
健康食品・ファインセラミックス等
の成長分野へ積極的に進出

ベクター社
工場を増築したので、タイムリーに
受注増に応える

ブランド戦略
「FREUND / VECTOR」のブランド統一
により、世界市場での知名度を更に
高める
メガファーマ、中近東・インド・
東南アジア等で台頭している後発
医薬品企業へ積極的に営業展開

化成品部門

医薬品添加剤

- ・増産体制を整えたので、タイムリーにユーザーニーズに応える
- ・自社開発品を積極的にDMF登録し（ ）国際的な製薬企業へアプローチ

食品品質保持剤

- ・拡大している市場を深耕
- ・品質保持剤の添付有・無を判定する
自社開発の検知器を上市、拡販

治験薬製造受託

安定した受注を確保

・ DMF登録

米国では、医薬品の承認を得るためには、その製剤原料である添加剤についても米国食料医薬品局（FDA）へDrug Master File（DMF）登録維持することが必要となっています。

中期経営計画

(平成18年2月期～平成20年2月期)

基本方針

「国際化への果敢なチャレンジ」

内外のユーザーニーズを捉えた研究開発型企業として、社会的存在価値の向上に取り組みます。

計数目標

計画最終年度（平成20年2月期）の目標

- ・ 連結売上高 ... 125億円
- ・ 連結営業利益 ... 10億円（連結営業利益率8%）
- ・ 連結当期純利益 ... 6億円

(1) 成長戦略

- ・造粒及びコーティング技術をキーテクノロジーとした機械装置（ハード）と製剤技術（ソフト）を一体化した技術開発
 - ・グループ各社のシナジー効果
 - ・戦略的業務提携
- などで、意欲的な事業展開を推進

(2) 収益力の向上

- ・一人当たりの生産性向上
 - ・利益の絶対額増加
- などで、収益力を高め、強固な収益構造を目指す

(3) 経営体質強化

事業活動への寄与が期待出来ない資産等は見直し、更なる経営体質の強化を図る

本資料に関するお問い合わせ

フロイント産業株式会社
経営管理本部財務経理グループ

TEL : 03 - 5908 - 2631

FAX : 03 - 5908 - 2651

E-mail : freund@freund.co.jp